

## アイ・シー・ラボ、「印刷個別原価・利益算定ツール」開発

～案件毎の原価・利益算定をもっと手軽に。印刷会社の声から生まれた算定ツール～

### ■サマリー

印刷会社向けにコンサルティング業務を手掛ける株式会社アイ・シー・ラボは「印刷個別原価・利益算定ツール」を開発した。財務データや労務データなどから実態に合った案件毎の原価を算定することができ、従来の見積ソフトに比べ原価および利益の精度が高まる。Excel ファイルによる提供のため、印刷会社にとって導入負担が低く抑えられることも特長の一つ。本ツールを活用することで、「個別案件の費目別コストインパクト把握」「信頼性の高い原価（利益）を基にした見積金額設定」「自社の強みジャンル把握」が可能となる。

### ■「印刷個別原価・利益算定ツール」

#### 【開発の背景】

- 現在、日本フォーム印刷工業連合会が取り組んでいる経営力向上活動（「寺子屋」フォーム工連プロジェクト）の一環として、関東フォーム印刷工業会では経営シミュレーションゲームなどを通じた管理会計勉強会を3年前から継続的に実施している
- 上記勉強会を企画運営する株式会社アイ・シー・ラボは、日本フォーム印刷工業連合会との取組を通して個別案件の原価・利益を算定できる、「印刷個別原価・利益算定ツール」を開発した。

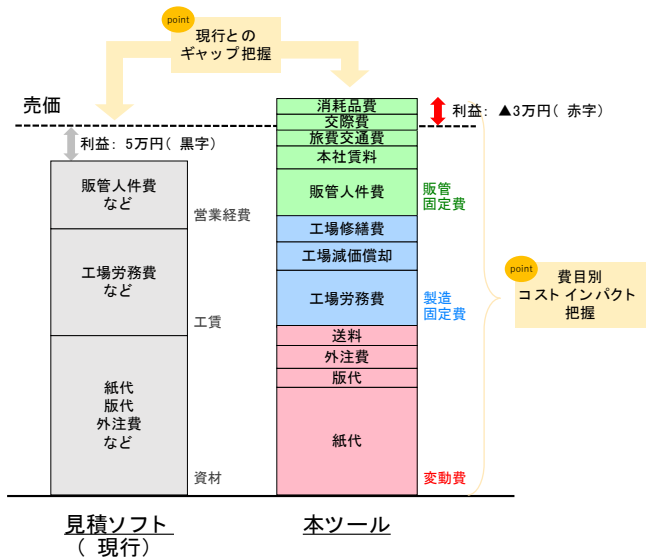
#### 【特長】

- 実態を反映できる原価算定ロジック
  - 製造固定費（工賃）を構成する工場労務費や設備費を、「枚数単価×通し枚数」の考え方ではなく、原価自体を積算する「時間単価×作業時間」によって算出している
  - 販管固定費の各費目について、費目の実態に沿った配賦ルールを詳細に設定することができる（案件規模配賦や案件均等配賦など）
- Excel ファイルによる提供
  - 安価であり、導入負担を低く抑えられる
  - 各社の実態に合わせてファイルのカスタマイズが容易

#### 【活用方法】

- 各社の実態に合わせて個別案件の原価・利益を算定できるため、下記活用ができる
  - 個別案件の費目別コストインパクト把握
  - 各社利用の見積ソフトで算出した原価・利益の、実態とのギャップ把握
  - 信頼性の高い原価（利益）を基にした見積金額設定
  - 工程変更や能率などに起因する差損益の把握（予定原価と実績原価の比較）
- 長期的な活用（複数案件比較）により、下記活用ができる
  - 自社の強みジャンル把握
  - 利益改善活動への活用

(個別印刷案件の原価算定のイメージ)



【活用コメント】

- 「ツールを使うと案件毎の原価が把握できるため、根拠を持った値決めができる。」
- 「価格競争が厳しく、これまで（社内見積ソフト算出の）社内標準売価の 8 割の金額で薄利受注していると考えていた案件が、ツールで計算すると赤字案件であることが分かった。」
- 「現在取引している複数案件について、案件毎の原価を分析してみた結果、利益が大きい（＝コスト競争力が高い）案件ジャンルがあることに気付いた。」

■page2019 に出展

2019年2月6～8日に行われる page2019 へ出展。展示ブースでは本ツールを体験できる。  
また2月7日には「見える化から始める収益改善～見積り編」のテーマでカンファレンスへ登壇。

【展示】

- 日時：2月6日（水）～2月8日（金）
- 場所：日本フォーム印刷工業連合会出展ブース内

【カンファレンス】

- 日時：2月7日（木）15:45～17:45
- テーマ：「見える化から始める収益改善～見積り編」
- <http://www.page.jagat.or.jp/conference/5c11c5c3adbe1d0001344a61>

■本内容に関して

【記者発表】

- 日時：1月18日（金）13:30～14:30
- 場所：株式会社アイ・シー・ラボ 会議室  
➢ 住所：渋谷区神宮前 2-18-15 ワンエイスビル 1F
- 発表予定者：株式会社アイ・シー・ラボ 代表取締役 川口 福太郎  
日本フォーム印刷工業連合会 専務理事 山口 実
- 当日は、本ツールのデモンストレーション、質疑応答を予定しております

【問い合わせ先】

- 株式会社アイ・シー・ラボ 代表電話：03-6388-0966 E-mail：pcc@ic-lab.net